

令和8年度予算編成への要望書を提出！

昨年12月、一般要望213と各区要望77の計290項目からなる「令和8年度予算編成への要望書」を公明党福岡市議団から高島市長へ提出いたしました。

要望書の内容はこちら



公明党福岡市議団が実現した主な実績

燃料費等高騰の影響を受けた事業者支援金 中小企業を守る！ 燃料・光熱費高騰分を支援！

燃料費などの高騰による影響を受けた市内中小企業や個人事業者の事業継続と雇用を支えるため、光熱費等の価格高騰分の一部を支援します。電気やガス、ガソリン等を対象に、影響額の半額（上限60万円）を補助します。厳しい環境にある地域経済を守るためのサポートを力強く推進します。

<計算方法>

支援対象経費	A 上昇単価	B 使用量	C 価格高騰分
電気	0.4円/kwh	令和7年7月から9月及び令和8年1月から3月までの使用量(事業用)	支援対象経費ごとにAにBを乗じて算出(AXB) (77円×使用量)-1,500円 Cの合計額(価格高騰の影響額)の2分の1、上限60万円を支援
ガソリン、軽油、垂油、灯油	18円/L		
オートガス(タクシー含む)	13円/L		
都市ガス	22円/m ³		
LPガス	77円/m ³		
支援金額			

※市が別途実施する物価高騰対策支援の対象事業者は対象外となります(一部除く)。

申請期間

令和8年3月23日(月)～6月30日(火)

詳細は ▶
こちらから



※予算の上期に達し次第、受付を終了します。

子育て支援の拡充

集合型の産後ケアをスタート！5歳児健診は全区へ拡大！

宿泊・日帰り・訪問型の産後ケアに加え、子どもプラザ等施設を活用した産後ケアを開始します。また、小学校入学前に成長や発達の状況を確認し、必要な支援に繋げる5歳児健診は3箇所でのモデル実施を経て、今年度より全区で実施します。



福岡市 三世代同居・近居住替え支援事業



詳細はこちらから ▶

三世代同居・近居住替えを最大125万円支援！

子育て世帯や親世帯の三世代同居・近居にかかる費用を助成します。令和8年4月以降の市内の転居を対象に、住宅取得費(最大100万円)や民間賃貸住宅の家賃負担(最大50万円)、引越し費用等(上限20万円、多子世帯は5万円上乗せ)を助成します。家族が互いに支え合える環境づくりを後押しします。

三世代同居・近居のための転居に、組み合わせ可能な助成で支援

最大 **125** 万円

助成対象経費
合計額の1/2

住宅取得(購入)費
(子育て世帯or親世帯等)

20万円×最長5年間
(最大100万円)

引越し費用等

基本額20万円
(多子世帯は5万円上乗せ)

民間賃貸住宅家賃
(子育て世帯or親世帯等)

10万円×最長5年間
(最大50万円)

多子世帯とは

子ども※や妊娠している者が2人以上いる世帯

※18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者

市営住宅シェアハウス事業

単身高齢者に安心を！

単身高齢者の増加を受け、令和8年度から市営住宅を活用したシェアハウス事業が開始。高齢者の入居希望が多い一方、独居向けの部屋が少ない現状に対応するため、広い間取りの部屋を複数人でシェアすることで入居機会を広げ、単身高齢者が安心して暮らせる住まいの確保を推進します。

医療的ケア児・者支援

医療的ケア児とご家族を地域で全力サポート！

医療的ケア児や重度障がい児の受け入れ体制強化、支援施設の確保、訪問型在宅レスパイト、学校の宿泊行事支援、医療的ケア児・者の受入施設の確保など、関連する事業を推進します。切れ目のない包括的な支援体制を構築します。

2026 ふくおか

公明党福岡市議団レポート
FUKUOKA KOMIETO REPORT

KOMEI



公式HP

令和8年度 福岡市予算 公明党の要望が実現！

福岡市植物園エントランスガーデン撮影



山口 つよし

尾花 康広

かつやま 信吾

古川 きよふみ

たのかしら 知行

たばる 香代子

大石 しゅうじ

松野 たかし

しのはら 達也

高木 勝利

石本 優子

つつみ 健太郎

誰もが自分らしく、安心して暮らせる社会へ

新規 道路のバリアフリー化で歩きやすい街へ

車いすやベビーカーをご利用の方、目や耳に障害のある方など、すべての人がいつでも自由に外出できるよう、歩道や道路のバリアフリー化・エスコートゾーンの整備を進め、安全で快適に移動できる環境をつくりま



新規 文化芸術鑑賞サポートで心豊かな生活へ

障がいの有無などに関わらず、気軽に文化芸術に触れ、楽しむことができる環境づくりをサポートし、誰もが魅力を感じる都市の実現を目指します。

高齢者の外出の安心へ生活交通支援

高齢者の外出の安心へ公共交通不便地等においてオンデマンド交通の運行エリアを拡大。高齢者の社会参加を後押しします。

新規 ふくふくクラブ活性化でシニア世代を応援

高齢者の皆様の健康づくりや生きがいづくりを推進するふくふくクラブ福岡（老人クラブ）の支援を強化し、元気で活力のある地域社会の構築を進めます。

- さらに
- 民生委員の活動をサポートするため、情報共有アプリを導入します
 - 介護初任者講習の無償枠を拡大
 - 障がい福祉サービス情報にアクセスできる支援アプリの導入
 - 重度障がい者や、強度行動障がい者のレスパイト受け入れ施設への補助
 - 南地域交流センター（仮称）の検討
 - 認知症の理解を深めるため、コミュニケーションケア技法「コマニチュード」の普及・啓発を推進
 - バス停等へのベンチ設置拡大



環境・経済など 人と地球にやさしい持続可能な都市構築

脱炭素社会のリードと物価高に負けない強い経済

令和9年
2月から

プラスチック分別回収がスタートします



イメージ図

AIを活用した分別サービスの導入、ルールブックの全戸配布で分かりやすく周知し、環境に優しいまちづくりに取り組みます。

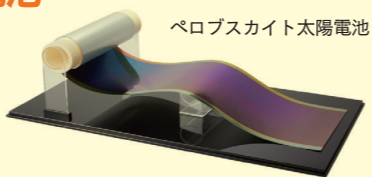
就労相談・ミドル世代の就職を支援

各区の窓口やオンラインで相談に寄り添い、求職者と事業者のマッチングを支援。ミドル世代（就職氷河期含む）には専任の相談員を配置し、きめ細かな就職支援を行います。



次世代エネルギー ペロブスカイト太陽電池

薄くて軽く曲げられる国産「ペロブスカイト太陽電池」を福岡ドームの屋根に導入するなど、環境に優しい脱炭素都市・福岡を牽引します。

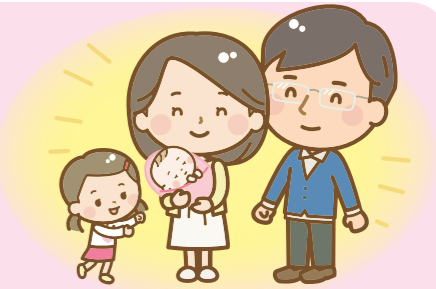


- さらに
- 生ごみ減量・資源化へ、乾燥式の電動生ごみ処理機も新たに補助対象に追加
 - 花粉発生を抑える「きって、使って、植えて、育てる」森林資源の循環へ
 - 福岡市のグローバル人材の育成に向けた日本人大学生の海外留学奨学金を拡充
 - 福岡市 DX 戦略を推進。AI 電話導入で保健所窓口の事務を効率化・利便性向上へ
 - 国内最大級の屋内型スケートボードパークがポートレース福岡に令和8年10月オープン予定



公明党 福岡市議団は みなさまの声をカタチにしました

切れ目のない伴走型子育て支援と教育環境の充実 若者の夢を後押しする支援へ



ライフデザイン支援事業の拡充

若者が子育てや出産のイメージを持つための支援や婚活支援を行います。また、医療機関での検査助成や講演会などにより、健康や将来の生活を考えるプレコンセプションケアを推進します。

新規 自立を応援 ケアリーバーのための相談窓口設置

児童養護施設などを退所した若者（ケアリーバー）が、社会で孤立することなく安心して自立に向かえるよう、相談体制や居場所の提供により、若者の未来を支えます。

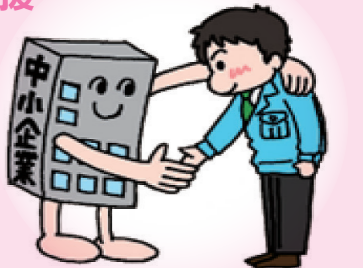


様々な悩みや問題を抱える若者へのアウトリーチ支援強化

孤独・孤立など、さまざまな困難を抱える若者に対し、一人ひとりの状況に寄り添ったきめ細やかな相談支援やサポート体制の強化に取り組みます。

若者と中小企業を応援 奨学金返還支援事業

福岡市と企業が奨学金の返還を一部肩代わりする支援制度を拡充。今年度、さらに参加企業を拡充します。



- さらに
- 保育ニーズの高い1歳児の受け入れ拡大へ
 - 学校給食費無償化と質の向上
 - 夏休みなど長期休暇の子ども食堂への支援を拡大
 - インクルーシブ広場の整備を推進
 - 授乳やおむつ替えができる「赤ちゃんの駅」に搾乳マークの掲示スタート



防災・防犯・インフラ 安全・安心で良好な生活環境の充実

市民の命と暮らしを守る災害に強いまちづくり

TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の整備など避難所の質を向上

今年度、トイレトレーラーの導入や簡易ベッド増設を推進する等、災害関連死を防ぎ、安全・安心な避難所環境を整備します。



地域の安全を守る 街頭防犯カメラ補助

防犯カメラ維持管理にかかる費用（電気料金・点検費用等）について補助開始し、地域の防犯力を高めます。



陥没事故を防ぐ路面下空洞対策

道路の陥没による重大事故を未然に防ぐため、最新技術を用いた路面下空洞調査を実施し、市民の命と生活インフラをしっかりと守ります。

- さらに
- ITを活用して仕事のムダを省く、水道DXを推進
 - 無電柱化の推進
 - 防犯灯等の道路占用許可申請のオンライン化
 - 博多駅東駐輪場の整備